

明石

4年ぶり 明石西高生と園児交流

明石西高校教育類型コースの生徒が20日、二見こども園で保育の仕事を体験した。同コースの1年生約40人と同園の約40人が参加。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに実施された。生徒は園庭で、園児が竹馬に乗る練習をサポート。うまくバランスがとれない子を支えたり、歩数を数えたりして手助けした。

教室では、互いに自己紹介。5人ほどのグループに分かれ、それぞれの名前を画用紙に書いていった。また、好きな色や最近はまたいることなどを話して交流を深めた。その後近くの海岸に移動。約1時間にわたり、砂山にトンネルを掘ったり、浅瀬に浮かんだワカメを取つたり、貝殻を集めたりして遊んだ。

山中翔央ちゃん(6)は「お兄さんは優しかった」と笑顔。高田晃成さん(16)

竹馬上手に乗れたね



竹馬で交流する明石西高校の生徒と二見こども園の園児=明石市二見町東二見

は「難しい言葉を使わないようにならぬようにしたりする」のが大事だと学んだ。小学校の先生になりたいの学校の先生になりたいのことで、今後の実習でも意識したい」と話した。
(有富晴貴)